

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月13日 (2009.8.13)

【公表番号】特表2009-506122(P2009-506122A)

【公表日】平成21年2月12日 (2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-529207(P2008-529207)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/341	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	5/14	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/06	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/4045	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	45/00	
C 1 2 Q	1/02	Z N A
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	37/66	G
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/395	
A 6 1 K	31/341	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/06	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 P	33/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/4045	
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
C 1 2 N	15/00	A

【 手続補正書 】

【 提出日 】 平成21年6月26日 (2009.6.26)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞によるDタイプオリゴデオキシヌクレオチドの取り込みの変化に使用するための、C
XCL16の発現または活性を変化させる薬剤を含む組成物であって、

式中、中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、RがAまたはG（プリン）であり、Y
がCまたはT（ピリミジン）である、式：



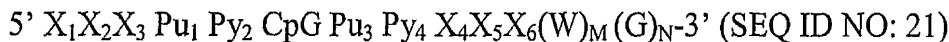
によって示される配列を該Dオリゴデオキシヌクレオチドが有し、かつ

該オリゴデオキシヌクレオチドが少なくとも約18～約50ヌクレオチドの長さである、組
成物。

【請求項 2】

Dオリゴデオキシヌクレオチドが、

中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、Puがプリンヌクレオチドであり、Pyが
 ピリミジンヌクレオチドであり、XおよびWが任意のヌクレオチドであり、Mが0～10の任意
 の整数であり、Nが4～10の任意の整数である、配列



を有する、請求項1記載の組成物。

【請求項 3】

薬剤がCXCL16の発現または活性を増大させ、かつ薬剤がADAM-10のアンタゴニストであ
る、請求項1記載の組成物。

【請求項 4】

ADAM-10のアンタゴニストがGW280264X、G1254023XまたはGM6001である、請求項3記載の
組成物。

【請求項 5】

薬剤がCXCL16の発現または活性を増大させ、かつ薬剤がインターフェロン、腫瘍壊死
因子またはそれらの組み合わせである、請求項1記載の組成物。

【請求項 6】

薬剤がCXCL16の発現または活性を低下させ、かつ薬剤がCXCL16に特異的に結合する抗体
である、請求項1記載の組成物。

【請求項 7】

薬剤が、CXCL16の発現または活性を低下させ、かつCXCL16の発現または活性を低下させ
る薬剤が、ADAM-10の活性を増大させる薬剤である、請求項1記載の組成物。

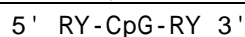
【請求項 8】

ADAM-10の活性を増大させる薬剤がイオノマイシンである、請求項7記載の組成物。

【請求項 9】

薬学的組成物が、Dタイプオリゴデオキシヌクレオチドの治療有効量ならびにCXCL16の
発現および/または活性を増大させる薬剤の治療有効量を薬学的に許容される担体中にさ
らに含み、

該Dオリゴデオキシヌクレオチドが18～50ヌクレオチドの長さであり、かつ式中、中央
のCpGモチーフがメチル化されておらず、RがAまたはG（プリン）であり、YがCまたはT（ピ
リミジン）である、式：



によって示される配列を該Dオリゴデオキシヌクレオチドが有する、

請求項1～8のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

Dタイプオリゴデオキシヌクレオチドが約18～約50ヌクレオチドの長さであり、かつ、
式中、中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、RがAまたはG（プリン）であり、YがC
またはT（ピリミジン）である、式：

5' RY-CpG-RY 3'

によって示される配列を該Dタイプオリゴデオキシヌクレオチドが有する、
免疫応答を誘発する医薬の製造のための該Dタイプオリゴデオキシヌクレオチドの治療有効量ならびにCXCL16の発現および / または活性を増大させる薬剤の治療有効量の使用。

【請求項 1 1】

薬剤がADAM-10のアンタゴニストである、請求項10記載の使用。

【請求項 1 2】

ADAM-10のアンタゴニストがGW280264X、G1254023XまたはGM6001である、請求項10記載の使用。

【請求項 1 3】

Dオリゴデオキシヌクレオチドが、

中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、Puがプリンヌクレオチドであり、Pyがピリミジンヌクレオチドであり、XおよびWが任意のヌクレオチドであり、Mが0～10の任意の整数であり、Nが4～10の任意の整数である、配列

5' X₁X₂X₃ Pu₁ Py₂ CpG Pu₃ Py₄ X₄X₅X₆(W)_M(G)_N-3' (SEQ ID NO: 21)

を有する、請求項10記載の使用。

【請求項 1 4】

インビトロで細胞を対象の薬剤と接触させることと、

CXCL16の活性の発現を評価することを含む、

DタイプODNによって誘発される免疫応答を変化させる薬剤を同定する方法であって、

対照に比較した場合のCXCL16の活性の発現の変化が、薬剤が該DタイプODNに対する免疫応答を変化させることを示し、該DタイプODNが18～50ヌクレオチドの長さであり、かつ、式中、中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、RがAまたはG (プリン) であり、YがCまたはT (ピリミジン) である、式：

5' RY-CpG-RY 3'

によって示される配列を該DタイプODNが有する、方法。

【請求項 1 5】

免疫応答を増大させる薬剤を同定する方法であって、

対照に比較した場合のCXCL16の活性の増大が、薬剤がDタイプODNに対する免疫応答を増大させることを示す、請求項14記載の方法。

【請求項 1 6】

免疫応答を低下させる薬剤を同定する方法であって、

対照に比較した場合のCXCL16の活性の低下が、薬剤がDタイプODNに対する免疫応答を低下させることを示す、請求項14記載の方法。

【請求項 1 7】

Dオリゴデオキシヌクレオチドが、

中央のCpGモチーフがメチル化されておらず、Puがプリンヌクレオチドであり、Pyがピリミジンヌクレオチドであり、XおよびWが任意のヌクレオチドであり、Mが0～10の任意の整数であり、Nが4～10の任意の整数である、配列

5' X₁X₂X₃ Pu₁ Py₂ CpG Pu₃ Py₄ X₄X₅X₆(W)_M(G)_N-3' (SEQ ID NO: 21)

を有する、請求項14～16のいずれか一項記載の方法。